

### 社会実験でバス共通パスを 6社との協議が課題



降旗 聡

**問** 市内バス事業者共通フリーパスを社会実験として取り組むことについて。

**答** バス事業者ごとに定められた一定要件のもと、あらかじめ料金を支払うなどの手続きを行うことにより、期間中、そのパスで当該バス事業者のバスが利用できる仕組みで、市内バス事業者の一部で取り組まれている状況を把握している。

市内バス事業者6社との協議などが課題と捉えており、バス路線相互の乗り継ぎを踏まえた運行ダイヤの編成など、利便性向上に向けた取り組みの全体の中で、バス事業者や他地域の動向など情報収集に努める。

**問** 市内の観光資源や農産物直売所、一店逸品のお店や文化財などをまとめたガイドマップを作成して、9月20日の「バスの日」や21日の「敬老の日」を結めた期間限定のフリーパスで公共交通の利用促進を図ってみたい。

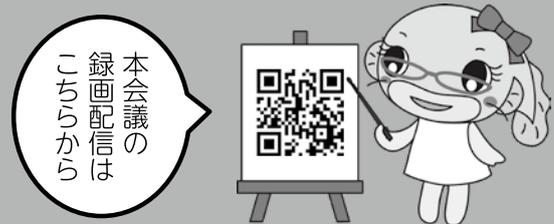
**答** 公共交通を推進するうえでは、バス路線の相互の乗り継ぎ、運行ダイヤの調整なども必要と考える。全体の中で調整が付き環境が整えば市民にとっても良いことだと考える。

# 答えて市長！ 一般質問

今定例会では、6月10日(金)、13日(月)、14日(火)の3日間にわたり16名の議員が市政全般について、市の見解をたしました。

主な内容を質問者が要約してお知らせします。詳細は会議録をご覧ください。

会議録は、ホームページや市立図書館で閲覧できますが、今定例会の会議録の提供は、9月上旬となる予定です。



### 新型コロナウイルス感染症対策等 及び社会経済対策について



小野 潔

**問** ①3回目のワクチン接種状況と4回目接種計画は②新型コロナ対応地方創生臨時交付金、約2億円を活用して「プレミアム付商品券の発行」「ひとり親家庭や生活困窮者や低所得者への市独自の支援」「原材料高騰を鑑みて学校給食費を値上げしないためにも原材料仕入れ対策」「公共交通事業者支援」等をご提案するがいかがか。

**答** ①60歳以上で93%全体では75%の接種率、4回目は3回目から5ヶ月経過した60歳以上の方と18歳以上60歳未満の基礎疾患のある人。6月26日より開始。おあしす、中央公民館で集団接種。②プレミアム付商品券は30%プレミアム率で予定、生活困窮者対策は住民税均等割のみ世帯へ10万円の給付予定、給食原材料対策、公共交通事業者支援は状況を注視し適切な対応検討。

**問** 一日も早くロシア軍の撤退を願っている。今、この時だからこそ提案する。ウクライナに平和と安定が訪れた時、しかるべき都市と当市で姉妹都市交流締結をしては。

**答** 今の支援を考え将来については研究する。

### 高齢者見守り体制の拡充を



五十嵐 恵千子

**問** 今後、一層の高齢化社会を迎えるに当たり、生活反応センサーで高齢者等を見守る「緊急通報システム」と、高齢者等が迷い人になった時にご家族へ即時に居所を伝える「トコロんおかえりQR」事業の導入を提案する。ご見解は。

**答** 提案を十分に検証し、導入を検討する。

#### ◆重い通学カバンの解消を

**問** 重い通学カバンの解消を求める声がある。置き勉の取り組み強化、運ぶ手段の選択、タブレット端末充電の考え方を伺い、問題解決を探る。

**答** 置き勉は更なる見直しで一層の徹底を図る。運ぶ手段はランドセルカバン以外でも可能。タブレット端末は「学用品の一つ」と捉え、毎日持ち帰りの学校は家庭で充電をお願いしている。

#### ◆吉川駅北口ロータリー新構造計画は慎重に

**問** 安全安心で新たな時代を感じる構造計画を。

**答** 来春には吉川美南駅東口へのアクセスが向上し車の流れが変わるため、市民や市議会の意見を聞き検討する。